

発行日 2017年12月15日
 発行人 清水 文美
 編集 ミュージアムキッズ編集委員会
 委員 泉田 佳代 小関 万緒 鬼本佳代子☆ 蒲池 昌江 久保田 和之 齋藤 義朗
 酒井 尚子 作花 麻帆 芝 涼香 清水 文美 高瀬 優子 細谷 美宇
 水谷 亜希 八木 剛 八尋 智之 山下 治子 (☆今号編集長)
 コースレポーター 阿部 美里 佐藤 萌 竹田健一郎 手嶋 翔一 中谷 朱里 中村 彩乃
 新熊 千遥 三上 亮 村上 佳穂 八重樫あすか 吉田 望里

発行 こだもひかりプロジェクト
 デザイン・DTP・印刷 (株)アム・プロモーション
 イラストレーション いよりふみこ ((有)アイツアーアソシエイツ)
 題字 佐藤いずみ



ミュージアムキッズ 6

2017.12.15

子どもたちの好奇心を、若者たちのチャレンジを、
私たちは、応援します。

ショップ&ワンダー アエル

〒980-6104 仙台市青葉区中央1丁目3-1 TEL 022-723-8000 URL <http://www.sendai-aer.jp/>

Shop and Wander
AER

ミュージアムに関わる
大人たちが、
ミュージアムをよくしようと
読んでいる雑誌
「ミュージアムキッズ」と
親子のような雑誌です。

発行/株式会社アム・プロモーション
〒108-0014 東京都港区芝 4-3-2-110
TEL.03-6453-7878 <http://www.musee-um.co.jp>

CIA は、ミュージアムキッズを
応援しています。

イベントプロデュース
ウェブサイト デザイン
デザイン&印刷
システム構築
映像編集
ブランディング

CIA

ブランドづくりのお手伝い。

株式会社 CIA 〒960-0719
<http://www.cia.co.jp> 福島県伊達市梁川町やながわ工業団地90番地1
TEL.024-577-0075 FAX.024-577-7676



★ワークショップときどき体験

古代の人々の暮らしを体験! 兵庫県立考古博物館へ!
 こだも☆ひかりプロジェクト
 「ミュージアムキッズ! 全国フェア in 熊本」

★全国ワークショップ@ミュージアム【2017年12月~2018年6月】

★会いたい、ききたい! ユースインタビュー

奥野総合法律事務所・外国法共同事業 所長 奥野善彦さん
 自然の中で、大いに遊び、志を育てること



ミュージアムキッズについて

この冊子は、東日本大震災で被災した子どもたちを笑顔にしたいと集まったミュージアムの関係者たちによる団体「こども☆ひかりプロジェクト」が制作・編集しています。「こども☆ひかりプロジェクト」は、2012年の夏から東北各地で子どもたちのためにワークショップ等を展開してきました。そのような経験から、展覧会だけでなく、ミュージアムの体験的な活動を紹介し、活用してほしいとこの冊子を作りました。なお、記事の取材・執筆に当たった「ユーススタッフ」(通称ユース)は、「こども☆ひかりプロジェクト」の運営をサポートしている仙台市を中心とした大学生たちです。全国の子どもたちと保護者の皆さまにミュージアムの活動と魅力を知っていただければ幸いです。

ミュージアムキッズ編集部



Musée
から生まれた
キッズです

ミュージアムキッズ

2017.12.15 ⑥

目次

	04 古代の人々の暮らしを体験! 兵庫県立考古博物館へ!
	06 こども☆ひかりプロジェクト 「ミュージアムキッズ! 全国フェア in 熊本」
08	ワークショップ@ミュージアム [2017年12月~2018年6月]
12	ミュージアムなク・イ・ズ
13	おうちでできるミュージアムなたいけん 石ころヨーヨー
14	会いたい、ききたい! ユースインタビュー 奥野総合法律事務所・外国法共同事業 所長 奥野善彦さん
16	ミュージアムのすてきな人 太白山自然観察の森 レンジャー 黒川周子さん
17	ミュージアムのそばにすてきな人 元宮城県美術館教育普及部長・美術家 齋正弘さん
18	ママ、パパにおすすめミュージアムカフェ ミュージアム Goods ミュージアムなク・イ・ズ (こたえ)
19	ミュージアムキッズを入手するには? 編集後記
20	パートナーのご紹介

表紙写真:「お月見どろぼう」を体験する子どもたち(2017年9月棚倉城跡 p.14-15に関連記事)
撮 影:八木剛

こども☆ひかりプロジェクト 冬もワクワクがいっぱい!
2017年の主催・協力イベント



あつまれ! わくわく キッズミュージアム

2017年12月23日(土・祝)
九州国立博物館

九州各地のミュージアムが集まってくるよ!
詳細は <http://www.kyuhaku.jp> をご覧ください。

ご支援のお願い!
こども☆ひかりプロジェクトは、非営利の活動です。おかげさまで好評をいただき、この5年間で、しだいに活動が増えてきました。みなさまからの温かいご支援をお願いいたします。

あなたも
サポーターに!

ご支援の方法

こども☆ひかり倶楽部(賛助会員)にご加入!★★
年会費 個人一口3,000円 / 法人一口10,000円
一口500円カンパ!★

下記の口座へ、いつでもお待ちしております。
お礼 ★ HPにご芳名掲載 ★ ミュージアムキッズ 誌の送付ほか

ミュージアムキッズ 誌への広告協賛・フェアへの協賛も
随時募集中。お問合せ、お待ちしております。

amk@kodomohikari.com

振込先: ゆうちょ銀行
記号番号: 00980-1-195311
店名・種目・口座番号: 〇九九店(店番099)
当座・0195311
名義: こども☆ひかりプロジェクト応援基金

プルデンシャル生命は、こども☆ひかりプロジェクトとユースの活動を応援しています。



プルデンシャル生命は、「こども☆ひかり倶楽部メンバー」としてプロジェクトの活動を応援しています。
こども☆ひかりプロジェクトとこども☆ひかりユースの活動から、子どもたちにたくさんの夢と希望が提供され、子どもたちの笑顔から地域社会が明るくなるよう、これからも応援していきます。



何かお困りのことがございましたら下記までお問い合わせください

- 仙台支社 / 022-262-7288 ■ 仙台第二支社 / 022-208-5460 ■ 盛岡支社 / 019-604-9051
- 秋田支社 / 018-825-5561 ■ 郡山支社 / 024-991-9561
- カスタマーサービスセンター / 0120-810-740 (平日8:00~21:00、土日祝日9:00~17:00)

プルデンシャル生命保険株式会社 ドライデンカスタマーセンター (仙台本社) 〒981-3288 宮城県仙台市泉区紫山2-1-5



発掘ひろば

発掘体験のコーナー。実際の発掘作業で使われる道具で遺物を掘ります。足もとに埋まる遺物すべてを掘り出すのは結構大変！私は4つしか見つけられませんでした…。家族やお友だちと協力して掘るのも楽しそうです



古代人福笑い

自分の顔を鏡で見ながら、似ている顔のパーツを選んでいきます。できあがった顔は縄文顔かな？ 弥生顔かな？ 古代の人たちの顔の特徴が見えてきます



火おこし体験

火をおこすのって大変…。



衣装体験

古代の服装を着てみる事ができるよ。みんなも昔の人に変身してみよう！



くみひも組紐

組紐をつくってみよう！きれいな組紐ができるかな？



ワークショップ どきどき体験

ミュージアムって、古い道具やいろいろな生き物の標本、それに美術作品が展示されているところですが、ワークショップなどの体験型プログラムもいろいろと行われています。さて、どんなものなのか、ユース(大学生)が体験しました。

古代の人々の暮らしを体験！ 兵庫県立考古博物館へ！

【兵庫県立考古博物館】

兵庫県立考古博物館は、兵庫県加古郡播磨町の、緑豊かな公園の中に位置しています。この公園は普通の公園とはひと味違います！四季の草花を楽しめる遊歩道があるだけでなく、弥生時代後期から古墳時代初期の集落跡である大中遺跡があり、復元されたたくさんの竪穴住居を見ることが出来ます。一步足を踏み入れれば、その時代の人々の暮らしの様子がよみがえってくるように感じられました！今回、私たちはそんな考古博物館にお邪魔して、ワークショップを体験させていただきました。取材には考古博物館学芸員の松岡千寿さんにご協力いただきました。

古代を感じよう！

常設展示場では、見たりさわったり、身体全体を使って楽しめる工夫があちこちにされていました。竪穴住居での生活について間違い探しをしながら学んだり、縄文時代と弥生時代の人間の顔の特徴を知ることの出来る福笑い、古代の人に変身することの出来る衣装体験など！展示物のほとんどは原寸大に作られており、当時の暮らしがイメージしやすいようにもなっています。松岡さんは、「古代を知識として覚えようとするよりも、感じて欲しい」と何度もおっしゃっていました。その言葉通り、私たちも展示に夢中になっているうちに、いつのまにか



昔の人の暮らしについて詳しくなっていました。

古代の火をおこそう！

古代の人と同じ方法で火おこし体験もさせていただきました！古代の人々が行っていた火のおこし方は様々で、そのなかでも木を使う方法として「もみぎり」「まいぎり」「ゆみぎり」「ひもぎり」などがあるそうです。普段博物館では、子どもでも簡単に火をおこすことのできる「ゆみぎり」を体験することができます。取材に行った日も、子どもたちが夢中で火をおこしていました。火がついた瞬間は周りで見ている子どもたちも一緒に

なって「おおー！」という歓声が上がります。私たちは最も難しいと言われる「もみぎり」に挑戦！火がおきるまでかなり苦労しましたが、みんなで力を合わせ、炎が見えた時の気持ちは格別です。生活の中で火を見る機会も少なくなっている今、昔の人にとって火をおこすことがどれほど大変だったか、体験を通して想像することは、子どもたちにとって貴重なものとなるのではないのでしょうか。大人も参加できるので、親子で体験している姿もたくさん見られました。また、煙のにおいや火の音、暖かさを感じる事が出来るため、いろいろなハンディキャップをもたれている方も参加できるプログラムになっているそうです。

くみひも組紐づくりに挑戦！

1600年前(古墳時代)の人も指を使って組紐を作っていたそうです。そんな古くから作られている組紐の体験にも参加させていただきました。こちらでは、幼稚園から小学校高学年まで、幅広い年齢の子どもたちが参加していました。みんなスタッフの方の説明を聞きながら真剣な表情で取り組んでいます。小さい子どもは少し難しそうにしていたのですが、スタッフの方が工夫して声をかけておられ、みんな自分だけの組紐を作りあげて

いました。私たちも参加させていただき、最初は難しいかなと思いましたが、コツとリズムをつかんだあとは簡単に作ることができました。親子や友達どうし、またはカップルでお互いの組紐を作りあうというのも素敵ですね。

他にもたくさんのワークショップがあります！

火おこしや組紐づくり以外にも、こちらの博物館では「勾玉づくり」や「石包丁」の体験が毎日できます。他にも、「土偶をつくろう」「古代文字でカレンダーをつくろう」「ガラス勾玉でアクセサリーをつくろう」といった古代体験がこれからも企画されているそうです。今回ご紹介できたのは、兵庫県立考古博物館のほんの一部の展示、ワークショップにすぎません。この他にも子どもたちが夢中になれるイベントがたくさん開催されています。そしてこれらを支えているのは、130人ほどのボランティアの存在です。ボランティアの方たちは、子どもたちを楽しませたい、一緒に喜びを共有したいという思いで、様々な企画、指導にたずさわっています。私たちも展示を見ているときやワークショップに参加しているときに、ボランティアの方から、非常にわかりやすい解説や好奇心をくすぐられるような

お話をさせていただきました。疑問に思ったことや知りたいことをすぐに聞くことができるのも、ボランティアが身近な存在である博物館ならではの感覚でした。体験型博物館という小さな子どもから大人まで、存分に楽しむことのできる兵庫県立考古博物館で、古代にタイムスリップした気分を味わってみてはいかがでしょうか。(新熊千遥 三上晃)

兵庫県立考古博物館

〒675-0142
兵庫県加古郡播磨町中 1-1-1
TEL.079-437-5589



●開館時間	展示室 4月～9月 9:30～18:00 10月～3月 9:30～17:00 展示室以外の施設 4月～9月 9:00～18:00 10月～3月 9:00～17:00 ミュージアムショップ・カフェ 10:00～17:00
●休館日	月曜日(ただし、祝・休日に当たるときは、その翌日以降の日のうち休日に当たらない最初の日) 1月1日及び12月31日 12月19日～12月30日はメンテナンスのため臨時休館。
●入場料	【通常料金】 大人 200円(150円) 大学生 150円(100円)

※特別展期間中は特別料金となります。お問い合わせ下さい。
※()内は20名以上の団体料金
※高校生以下無料
※70歳以上の方は大人料金の半額
※障害者基本法第2条に規定する障害者の方は半額、介護者1名は無料
※古代体験には別途料金がかかるものがあります。



古墳のまわりで
わいわい楽しいね!



ステージでは
楽しいショーだモン!



大きな紙に
ごろーん



絵が...
消えてる!!



旧石器人も
来てくれたよ!



子どもたちは
ショーに
夢中です!



絵の具まみれ
が楽しい☆



飛べ! リング・
リング・グライダー!



こども☆ひかりプロジェクト ミュージアムキッズ! 全国フェア in 熊本

2017年の6月17日(土)・18日(日)に熊本県立装飾古墳館(以下、古墳館)で「ミュージアムキッズ! 全国フェア in 熊本」が行われました! 北は北海道から南は沖縄まで日本全国 30 以上のミュージアムが集まりました。広い会場が人で埋め尽くされるほどの大盛況で、子どもたちだけでなく、一緒に来た大人の方にも大いに楽しんでもらうことができました。2016年4月に起こった熊本地震は、多くの方々の心に深い悲しみと不安を残しました。私たちが、それらを全て無くすことはできません。だからといって、何もしないのではなく、子どもたちに体験を通して思いっきり楽しめる時間だったら提供できるのではないかと考え、古墳館での全国フェアを開催しました。

こども☆ひかりプロジェクトは東北地方での活動が多く、活動している大学生(以下、ユース)も東北地方の大学出身者がほとんどでした。しかし、古墳館での全国フェアに向けて、九州でユースを募集しました。福岡県と熊本県の大学から50名近くのユースが集まりました。

当日は、学芸員・研究員、ユース、その他多くの方々が一となり、無事に古墳館での全国フェアを終えることができました。その日の様子をいくつか紹介します。

絵が消える? また見えた?
絵...えっ?!

まずご紹介するのは、熊本博物館の「絵が消える? また見えた? 絵...えっ?！」という、光の全反射を利用したワークショップです。子どもたちには紙に好きな絵を描いてもらい、それをチャック付きの袋に入れて水に入れ、ななめ上から覗いてもらいます。すると、水に入れた袋の絵が消えて見えるのです。小さな子どもでもできる簡単なワークショップですが、子どもたちだけでなく大人の方も思わず「えっ!」と驚いていました。袋に入れる絵を描く作業も、みんな真剣で、中には何十分もかけて描いている子どももいました。さらに子どもたちが描いた絵の裏面には、くまモン(熊本県のPRキャラクター)などが描かれたイラストカー

ドを添えて入れ、自分の絵とイラストと、裏表で楽しめるようになっています。自分が作った作品を持ち帰ることができることはもちろんのこと、水があればおうちでもできます。たくさん子どもたちに驚きながらも楽しんでもらえました。

つくって飛ばそう
リング・リング・グライダー

次にスリーエム仙台市科学館のワークショップ「つくって飛ばそうリング・リング・グライダー」です。材料は紙とストローのみで、作り方もとっても簡単。細長い紙をリングにし、ストローの前後にそれぞれ貼り付けるだけで完成です。あとはストローの中心を持って、前へ投げると思った以上に遠くに飛んでいきます。簡単にできて、しかも遠くへ飛ばせて楽しいので、とても人気があり、会場のあちこちで、リング・リング・グライダーを持っている子どもを見かけました。子どもたちは空いているスペースで誰が一番遠くへ飛ばせるか、夢中になって競い合っていて遊んでいました。

ステージにも注目

いろんなミュージアムのワークショップで工作をしたり体験をしたりするのも楽しいですが、今回はさまざまなキャラクターによるステージ発表もとても盛り上がり、参加してくれた子どもたちに元気をふりまいてくれました。初日は長崎ペンギン水族館オリジナルマスコットキャラクターのアバちゃんや京都国立博物館公式キャラクターのトラりん、熊本県鞠智城のキャラクターのさきもりころう君たちが、ころう君体操を踊りました。壱岐市の人面石くんもクイズに登場。2日目にはトラりんと熊本県のPRキャラクターのくまモンが、くまモン体操を踊りました。このステージ発表は子どもたちに大人気で、一緒に踊ったりクイズをしたりと、大興奮でした。それぞれのキャラクターたちは会場を歩いて周り、写真を撮ったりいろいろなブースを見ては一緒に体験したりと、子どもたちと大いにふれあって会場を盛り上げてくれました。

大きな絵をかこう!

最後に、福岡市美術館・福岡アジア美術館・久留米市美術館・大阪新美術館建設準備室・岐阜県美術館など複数の美術館が共同で行ったワークショップを紹介します。「大きな絵をかこう!」は、子


どもたちが寝そべることができるくらい大きな紙に、身体全体を使って絵を描くというワークショップです。参加する子どもたちには、あらかじめ穴を開けたビニール袋を着てもらいます。というのも、大きな紙と大量の絵の具を前にした子どもたちは大興奮で、最後には全身絵の具まみれになってしまうからです。紙に絵を描いているのか、身にまとっているビニールに絵を描いているのかわからないくらいです。ともかく、全身を使って描くのでダイナミックな絵が完成していました。子どもたちにとって、貴重な体験になったのではないのでしょうか。

全国からたくさんのミュージアムが集まったこのフェアで、一人でも多くの子どもたちが楽しいと感じてもらえたのであればとても嬉しいです。参加して下さった方々に「またやってほしい」と声をかけていただき、古墳館で全国フェアを開催できて本当に良かったと感じました。私たちスタッフも子どもたちと楽しいひとときを過ごすことができ本当に良かったです。これからもこども☆ひかりプロジェクトは、子どもたちが夢を描く時間と場を、届けていきたいです。

(八重樫あすか)

熊本県立装飾古墳館

〒861-0561
熊本県山鹿市鹿央町岩原3085番地
TEL. (0968) 36-2151
FAX. (0968) 36-2120



●開館時間 9:30~17:15(入館は16:45まで)
●休館日 毎週月曜日、
年末年始(12/25~1/4)
●観覧料 一般 420円
大学生 260円
幼児~高校生無料
※団体割引あり

装飾古墳って知っていますか? 昔の人たちの大きなお墓を古墳と言い、その古墳の中に絵や模様が描かれているものを、装飾古墳と言います。装飾古墳は全国に660基しかありません。そのうち約200基が熊本県で発見されており、その数は日本一です。熊本県立装飾古墳館はこの装飾古墳の専門館で、装飾古墳について、見て触れて体験できる博物館です。

さて、そんな熊本県立装飾古墳館では、平成30年1月28日(日)まで、「ヲホド大王と越の国の装飾古墳~福井県の装飾古墳~」という企画展を開催しています。福井県では、石棺の蓋や内部に文様や絵を彫った装飾古墳が造られていました。今回は、福井県内から発掘された昔の人の道具やアクセサリ、模様の入った石棺のかけらを展示します。また期間中、熊本県立装飾古墳館の学芸課長坂口圭太郎氏による、ヲホド大王に関する講座も開催されますので、ぜひご参加ください。

さらに平成30年2月17日(土)まで、熊本県の菊池川流域古代文化研究会講座も実施しています。今年4月28日に日本遺産に認定された菊池川流域の米作りの物語をお話します。

詳しくは、HPでご確認ください。(吉田望里)

全国 ワークショップ @ ミュージアム 2017年12月～2018年6月

ほっかいどう

野外博物館 北海道開拓の村

北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1
TEL.011-898-2692

親子チャレンジ! 「万華鏡づくり」


●日程 12/24(日)
●時間 13:00～16:00
対象 小学生以下の親子 定員 10組 20名
参加費 一組1,000円 申込 要(受付中)



親子一緒に、ビー玉を使用した可愛い万華鏡を作りますか。クルクルまわす外の景色が綺麗な模様となって見える万華鏡、お母さんもついつい夢中になるかも!

親子チャレンジ! 「竹馬づくり」

●日程 3/21(水・祝)
●時間 13:00～16:00
対象 小学生以下の親子 定員 10組 20名
参加費 一組1,000円 申込 要(2/22より受付)



間もなく春! 雪がとけると外で思いっきり遊べる季節となりますが、今年の春は親子共同で作った「竹馬」で遊んでみませんか! 日曜大工が得意なお父さん、出番ですよ!


あおもり

青森県立美術館

青森県青森市安田字近野 185
TEL.017-783-3000

子どもアトリエ

●日程 1/27(土)
●時間 10:00～15:00 (昼休憩12:00～13:00)
対象 小学生以下 (未就学児は保護者同伴)
定員 なし 参加費 なし 申込 不要



「子どもアトリエ」で青森県立美術館の収蔵作家にちなんだ作品や、自分の好きな作品を作ってみませんか。みなさんぜひ遊びに来てください。

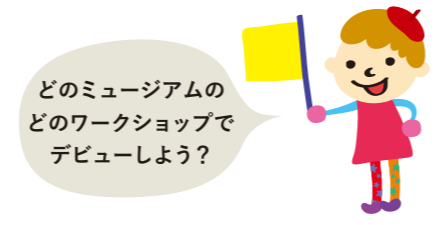
★このコーナーで紹介しているワークショップは一例です。各ミュージアムは新しいワークショップを続々と企画、実施しています。最新の情報は各ミュージアムのホームページをチェックしてくださいね!

ミュージアムデビューは、ワークショップから。

全国のミュージアムで行われるワークショップ、体験型プログラムのオススメ情報です。

— ご注意 —

プログラムの参加費が必要ないものでも、入館料が必要な場合もあります。また、事前申し込みのプログラムでは定員に達して締め切っている場合もありますのでご了承ください。詳しくは各館のホームページなどでご確認ください。



青森県立 三沢航空科学館

青森県三沢市大字三沢字北山 158
TEL.0176-50-7777

折り紙飛行機

●日程 毎日
●時間 随時
対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



よく飛ぶ折り紙飛行機のコツと一緒に勉強しながらつくってみよう!


みやぎ

仙台市富沢遺跡保存館 (地底の森ミュージアム)

宮城県仙台市太白区長町南四丁目 3-1
TEL.022-246-9153

古代米の稲わらで正月飾りづくり

●日程 12/23(土・祝)
●時間 11:00～11:30、11:30～12:00、13:00～13:30、13:30～14:00(全4回)
対象 なし 定員 各回10名
参加費 なし (ただし、入館料が必要) 申込 不要



地底の森ミュージアムで栽培している古代米の稲わらを使って正月飾りをつくります!

たのしい地底の森教室

●日程 1/7(日)、1/21(日)、2/11(日)、2/25(日)、3/11(日)、3/25(日)
●時間 13:30～14:30
対象 なし 定員 なし
参加費 なし (ただし、入館料が必要) 申込 不要


地底の森ミュージアムの展示がもっと楽しくなるミニ講座です。

東北歴史博物館

宮城県多賀城市高崎 1-22-1
TEL.022-368-0106

冬も元気に博物館

●日程 2/18(日)
●時間 9:30～15:30
対象 なし ※小学3年生以下保護者同伴 定員 定員があるプログラムもあり 参加費 無料 申込 不要(当日受付)




博物館のお仕事体験や昔遊びなど、屋内で楽しく遊べるプログラムを準備しています。みなさんもぜひ遊びに来てください。

仙台市太白山自然観察の森

宮城県仙台市太白区茂庭字 生出森 36-63
TEL.022-244-6115

クリスマスオーナメントをつくらう

●日程 12/16(土)
●時間 13:30～15:30
対象 なし 定員 15名
参加費 あり 申込 要(12/6 9:00～電話で)



いろいろな木の実を使って、素敵なクリスマスのオーナメントをつくしましょう。

木の実でつくるひな飾り

●日程 2/24(土)
●時間 10:00～15:00
対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要(当日受付)

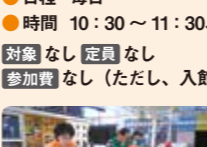
たくさんある木の実を使って自由にひな飾りを作っていました。

スリーエム仙台市科学館

宮城県仙台市青葉区台原森林公園 4-1
TEL.022-276-2201

チャレンジ・ラボ

●日程 毎日
●時間 10:30～11:30、14:00～15:00
対象 なし 定員 なし
参加費 なし (ただし、入館料が必要) 申込 不要



科学工作や実験にチャレンジ! 内容は、かさぶくるロケット、吹きごま、スライムなど月替わりなのでHPでチェックしてね★

ふくしま

環境水族館 アクアマリンふくしま

福島県いわき市小名浜字辰巳町 50
TEL.0246-73-2525

バックヤードツアー

●日程 毎日
●時間 9:30～15:30 随時出発 (約30分)
対象 なし 定員 1回10名 参加費 なし 申込 不要



水族館の裏側を見ながら、水族館のしくみや飼育員の仕事を学ぶことができます。

南相馬市博物館

福島県南相馬市原町区牛来字出口 194
TEL.0244-23-6421

化石の標本を作ろう!

●日程 3/18(日)
●時間 10:00～12:00
対象 小学生 (保護者同伴) 定員 25人
参加費 なし 申込 要



実物の化石が入った岩石を割ったり削ったりして化石を取り出し、標本を作ります。作った標本は持ち帰れます。

ムシテックワールド

福島県須賀川市虹の台 100
TEL.0248-89-1120

あれこれダンボール展

●日程 3/3(土)～4/5(木)
●時間 9:30～16:00
対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



ダンボールの可能性を探ろう! 見たり、さわったり、遊んだり、ダンボールってすごい!! そんな企画展です! (神田産業株式会社の協力で開催します)

ぐんま

群馬県立 ぐんま昆虫の森

群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷 460-1
TEL.0277-74-6441

もちつき

●日程 1/14(日)
●時間 12:30～13:30
対象 なし 定員 60名 参加費 200円(別途入園料が必要) 申込 不要(当日受付)

杵と臼でお餅をつく体験をします。つきたてのお餅も食べられます。

カブトムシ飼育講座

●日程 3/10(土)、3/18(日)
●時間 11:00～11:30
対象 親子 定員 30組 参加費 300円(別途入園料が必要) 申込 不要(当日受付)

カブトムシの飼育方を解説し、幼虫をプレゼントします。

ちば

千葉市科学館

千葉県千葉市中央区中央 4-5-1
TEL.043-308-0511

たんQひろば「はっけん! 教室」

●日程 3/21(水・祝)までの土日祝
●時間 ① 11:00～11:20 ② 13:00～13:20
対象 未就学児～小学2年生 定員 10組
参加費 なし 申込 不要(当日受付)

親子で楽しめる「季節を楽しむ」体験プログラムです。

とうきょう

ちひろ美術館・東京

東京都練馬区下石神井 4-7-2
TEL.03-3995-0612

文化庁平成29年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
ちひろの水彩技法体験ワークショップ
にじみのぼち袋づくり

●日程 1/2(火)・1/3(水)
●時間 10:30～15:00
対象 5歳以上 定員 各80名 参加費 無料(別途入園料が必要) 申込 要(当日10:00より受付 先着順)



いわさきちひろが得意とした水彩技法の「にじみ」を体験する人気のワークショップです。お正月ですので、最後にぼち袋にします!

文化庁平成29年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

① あかちゃんのための鑑賞会

② 子どものための鑑賞会

●日程 1/14(日)
●時間 ① 10:30～12:00 ② 14:00～15:30
対象 ① 0～2歳児と保護者
② 3歳児～小学1年生と保護者
定員 各回10組 20名
参加費 無料(別途入園料が必要)
申込 要(12/14より受付)


お子さんと美術館での作品鑑賞を楽しむには? 子どもの心の動きを熟知した講師による解説やお話のあと、展示室を実際に巡ります。

Miraikan 日本科学未来館

東京都江東区青海 2-3-6
TEL.03-3570-9151

企画展「MOVE 生きものになれる展 -動く図鑑の世界にとびこもう!-

●日程 11/29(水)～4/8(日)
※休館日除く。原則火曜休館。
●時間 午前10時～午後5時
対象 なし 定員 なし 参加費 大人1,900円ほか
申込 不要



世界は、人間にはとてもできない能力や知恵をもつ生きものであふれています。図鑑の世界に飛び込んで、生きものたちのスゴワザを手に入れよう!

しずおか

静岡科学館 る・く・る

静岡県静岡市駿河区南町 14-25
エスパティオ 8～10階
TEL.054-284-6960

企画展「ふしぎ? 発見! あそび百科展」関連事業 科学のおもちゃ広場

●日程 1/8(月・祝)
●時間 13:30～15:30
対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要(当日受付)



1/6～2/12に開催する企画展の関連事業。木のおもちゃやライトレースカー、からくりロボットなど講師の手作りのおもちゃで自由にあそぼう!

かながわ

はまぎん ども宇宙科学館

神奈川県横浜市磯子区洋光台 5-2-1
TEL.045-832-1166

星空観望会

1月の星空をみよう! 冬の大三角とオリオン大星雲をみよう!

●日程 1/20(土)
●時間 19:30～20:45
対象 どなたでも(中学生以下は保護者同伴)
定員 150名(うち定期入館券 WEB 会員枠 20名)
参加費 無料(当日1F インフォメーションにて、印刷した当選メール、または当選はがきをご提示ください)
申込 要(締切:1/6)



これまで開催してきた星空観望会の内容を一新し、よりご参加いただきやすくしました。外で天体望遠鏡を使い、オリオン大星雲を観望します。


なぎさの体験学習館

神奈川県藤沢市片瀬海岸 2-19-1
TEL.0466-28-6411

JAMSTEC × なぎさの体験学習館

深海トーク～“赤”や“白”が多い深海生物のヒミツ～

●日程 12/30(土)
●時間 11:00～11:30
対象 どなたでも(小学生未満は保護者同伴)
定員 先着50名 参加費 なし 申込 不要(当日10時よりなぎさの体験学習館1Fで整理券配付)




深海には赤い色や白い色をした生き物が多くいます。特殊な環境の深海で生き抜くための深海生物の“赤”や“白”のその色のヒミツは…。 ※深海トークの内容は小学生向けです

ちょっぴりワークショップ

ハッピー☆ジェル ～“サクラガイ”でお守りをつくろう～

●日程 1/6(土)～1/8(月・祝)
●時間 13:00～17:00 (16:30受付終了)
対象 どなたでも(小学生未満は保護者同伴)
定員 各日先着150名 参加費 250円
申込 不要(開催時間に直接会場へ)



桜の花びらのように美しい貝がら“サクラガイ”を使って、今年一年の抱負を書いてお守りを作ります。



いしかわ

金沢 21世紀美術館

石川県金沢市広坂 1-2-1
TEL.076-220-2800



平日「まるびい・すくすくステーション」
休日「ハンズオン・まるびい!」

●日程 詳しい開催日時や内容は当館HPで
ご確認ください。



平日火～金午前は乳幼児のお散歩コースに、休日は子どもから大人まで思い切り素材と表現の時間を楽しめるよう、キッズスタジオを開いています。親子でご利用ください。

ぎふ

美濃加茂市民ミュージアム

岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1
TEL.0574-28-1110



アートな1日講座 こま犬の絵付け

●日程 1/28(日)
●時間 13:00～16:00

対象 なし 定員 20名 参加費 400円
申込 要(当日12:30より受付)




2018年の干支の犬の絵付けをしましょう。
持ち物：エポックタオル

あいち

名古屋市美術館


愛知県名古屋市中区栄 2-17-25
TEL.052-212-0001



ちびっこオアシス

●日程 1/7(日)、8(月・祝)
●時間 9:30～17:00

対象 どなたでも 定員 なし ※混在時は乳幼児とその保護者を優先 参加費 なし 申込 不要



展覧会を楽しんだ後、小さなおさんはくつをぬいでここでひと休み&ひと遊び?! 簡易授乳スペースも用意します。

きょうと

京都国立博物館

京都府京都市東山区茶屋町 527
TEL.075-525-2473



さわって発見! ミュージアム・カート

●日程 12/13(水)～3/18(日)
開館日の毎日
●時間 10:15～16:15

対象 なし(子ども～大人まで) 定員 なし
参加費 なし(ただし大人は要観覧券) 申込 不要



文化財の複製や材料に触りながら、京博ナビゲーターさんと、たくさんおしゃべりしよう。

京都国立近代美術館

京都府京都市左京区岡崎円勝寺町
TEL.075-761-4111



ファミリーアワー! 美術館でゴッホモーニング

●日程 2/12(月・振休)
●時間 8:30～

対象 中学生以下の子どもとその保護者 定員 50組
参加費 なし(要観覧券) 申込 要(事前申込制、先着順)



「ゴッホ展 巡りゆく日本の夢」を親子で楽しもう! お気に入りの作品を見つけたり、好きな絵の前でゆっくり鑑賞したり。美術館が初めての方も、お気軽にご参加ください!

京都市学校歴史博物館 京都市学校歴史博物館

京都府京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町 437
TEL.075-344-1305



春の子ども体験教室

●日程 3/24(土)
●時間 ①10:00～11:30 ②14:00～15:30

対象 小学生全学年 定員 各回 30名
参加費 300円 申込 要(3/14までに申込)



昔の学校でも行っていた不思議なあぶり出しの実験で、ひまつの手紙を書いてみよう! また楽しい博物館たんけんにもチャレンジ!

宇治市源氏物語ミュージアム

京都府宇治市宇治東内 45-26
TEL.0774-39-9300



ことばと表現 — 伝えるカルタ教室 —

●日程 2/4(日)
●時間 13:30～15:30

対象 小学生 定員 30名(先着順)
参加費 なし 申込 要(1/16より電話にて申込)



自分の言葉を使って和歌を詠み、自分だけのオリジナルカルタを作ります。

おおさか

キッズプラザ大阪


大阪府大阪市北区扇町 2-1-7
TEL.06-6311-6601



五感発見! くらやみ探検 パート9
～年の初めのタメシとて!～

●日程 1/27(土)
●時間 ①11:30～12:30 ②15:00～16:00

対象 小学2年生～中学生
定員 各回6名(事前募集は10名) 参加費 なし
申込 当日募集は各回開始30分前から先着順で受付



まっくらやみ、で君は何を感じるかな? 見えない世界の案内人・広瀬センセイと一緒にくらやみ探検をするよ。今回のテーマはお正月。くらやみの中で、みんなでもう一度お正月を体験してみよう!
講師: 広瀬 浩二郎さん(国立民族学博物館准教授、全盲=聴覚者)

ひょうご

Y+T MOCA 横尾忠則現代美術館

兵庫県神戸市灘区原田通 3-8-30
TEL.078-855-5607



〇〇の女 — ヨコオ流・仮面変身術

●日程 3/24(土)
●時間 13:30～16:00

対象 なし 定員 20名 参加費 なし(要観覧券)
申込 要(美術館ウェブサイトから受付。3/10締切)



美術家・横尾忠則さんの女性の肖像画作品にちなんで仮面をつくり、参加者それぞれが「〇〇の女」に変身して肖像写真を撮影します。
※写真は過去のワークショップの様子です

兵庫県立人と自然の博物館

兵庫県三田市弥生が丘 6
TEL.079-559-2001



ひとはく Kids サンデー

●日程 1/7(日)、3/4(日)、4/1(日)、5/6(日)、6/3(日)
●時間 10:00～16:00

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



ひとはくでは、月の第1日曜日を「Kids サンデー」と呼び、小さな子ども達が参加できる、自然や生き物に関する色んなプログラムを用意しています。

キッピー山のラボ (三田市有馬富士自然学習センター)

兵庫県三田市福島 1091-2
TEL.079-569-7747



いしころさんぽ

●日程 1/27(土)・2/24(土)
●時間 13:00～14:00

対象 幼児～小学生とその保護者 定員 なし
参加費 なし 申込 不要(当日受付)



石ころ博士といっしょに、有馬富士公園の石ころを探しに行こう!

神戸ファッション美術館

兵庫県神戸市東灘区向洋町中2-9-1
TEL.078-858-0050



キッズ鑑賞ツアー
ファッション美術館へいこう!

●日程 12/16(土)、1/27(土)、2/17(土)、3/3(土)
●時間 14:00～15:00

対象 小学生まで(未就学児は保護者同伴)
定員 15名(先着順) 参加費 なし 申込 不要



みんなで展示室の作品を見たあと、その日のテーマに合わせて、つくったり、体験したりします。新しい発見があるかも!?

神戸アートビレッジセンター

兵庫県神戸市兵庫区新開地 5-3-14
TEL.078-512-5500



「NEW OPEN AREA 展」関連企画
節分ワークショップ 恵方巻きを作ろう!

●日程 2/3(土)
●時間 11:00～13:00

対象 なし 定員 20名 参加費 500円 申込 要



節分を楽しもう! 手作りの鬼のお面をかぶって、自分だけのオリジナル恵方巻きを作って食べよう! 親子参加も大歓迎です。

西宮市大谷記念美術館

兵庫県西宮市中浜町 4-38
TEL.0798-33-0164



銅版画(ドライポイント)で愛の贈り物

●日程 2/4(日)
●時間 13:00～16:00

対象 中学生以上 定員 15名 参加費 1,000円
申込 要



銅版画のレクチャーを受け、ドライポイントの制作を体験します。愛するものを描いて大切な人に贈りましょう。

しまね

島根県立 三瓶自然館 サヒメル

島根県大田市三瓶町多根 1121-8
TEL.0854-86-0500



北の原ファンタジー & 冬を楽しむイベント

●日程 2/18(日)
●時間 ①11:00～12:00 ②14:00～15:00

対象 小学生～未就学児 定員 創作劇は各回170名
参加費 入館料(未就学児は無料)
申込 不要(ただし創作劇は一ヶ月前から電話受付)



ミュージアムアテンダントによる創作劇や、冬の自然を楽しむ子ども向けのイベントがいっぱい。

サヒメルきっずサンデー

●日程 毎月第3日曜日
●時間 イベントごとに異なる

対象 小学生～未就学児
定員 なし ※きっずプラネタリウムは170名
参加費 入館料(未就学児は無料) 申込 不要

騒いでも大丈夫な「きっずプラネタリウム」や、サヒメルマスコットキャラクターのテンピーに会える時間もあるよ。

ふくおか

九州国立博物館

福岡県太宰府市石坂 4-7-2
TEL.092-929-3294



第10回 九博子どもフェスタ

●日程 2/25(日)
●時間 10:00～16:00

対象 小学生以下 定員 プログラムによる
参加費 なし 申込 不要

「子どもたちを笑顔に」をテーマに、九博ボランティアが企画する子どもや来館者が楽しめる参加体験型プログラムを多数準備しています。

福岡市科学館 福岡市科学館

福岡県福岡市中央区六本松 4-2-1
TEL.092-731-2525



おはなし会

●日程 月に1回開催
詳しい開催日時や内容はお問い合わせください

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



科学雑誌や図鑑、映像などで科学の知識をより深められるサイエンスナビでは、よみかぜのイベントも開催しています。ぜひ遊びにきてください!

福岡アジア美術館 福岡アジア美術館

福岡県福岡市博多区下川端町 3-1
リバレインセンタービル7・8階
TEL.092-263-1100



アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

●日程 毎月第2、第4火曜日、第2、第4日曜日
●時間 11:30～12:00、13:00～13:30

対象 未就学児および児童と保護者 定員 なし
参加費 なし 申込 不要



参加する子どもたちの年齢などに合わせてボランティアスタッフが選んだアジアの絵本や紙芝居をお話します。

とくしま

徳島県立 あすたむらんど子ども科学館

徳島県板野郡板野町那東字
キビガ谷 45-22
TEL.088-672-7111



あそびのワンダーランド「オニのお面」

●日程 1/28(日)
●時間 11:00～14:00

対象 幼児とその保護者 定員 なし 参加費 無料
申込 不要



オニのお面を作ろう! マットコーナーには、「ビー玉おに」などの小さなお子様でも遊べるおもちゃをいくつか用意しています。

ながさき

雲仙岳災害記念館

長崎県島原市平成町 1-1
TEL.0957-65-5555



新設 「ワンダーラボ&こどもジオパーク」開設

●日程 4/1(日)
●時間 9:00～18:00

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



がまだすドームは、平成30年4月にリニューアルオープンします。それにあわせて、新しくワークショップや実験を楽しめるワンダーラボが開設。ボルダリングや遊具等子どもが遊びながら学べるこどもジオパークもできます。工事休館を2～3月に予定しています。

長崎県美術館

長崎県長崎市出島町 2番1号
TEL.095-833-2110



「ミロコマチコ いきものたちの音がきこえる」
関連企画 エコバッグづくり

●日程 1/2(火)、3(水)
●時間 10:30～12:00、13:30～16:00

対象 なし ※小学生以下保護者同伴 定員 なし
参加費 1個 300円 申込 不要



ミロコマチコさんの描き下ろし限定デザインをシルクスクリーンでエコバッグにプリントしよう!



くまもと

熊本博物館

熊本県熊本市中央区古京町 3-2
TEL.096-324-3500

★休館中のため、別会場での開催となります。
詳しくは熊本 HP でご確認ください。



子ども科学・ものづくり教室
「箱の中に虹を作ろう」

●日程 12/16(土)
●時間 13:30~15:00

対象 幼児・児童・中学生 (小3以下保護者同伴)
定員 25~30人 参加費 なし
申込 要 (往復はがきでの申込 (熊本 HP 掲載))



かんたんな形や文字が、そのまま虹色にかがやきます。しかも、大空ではなく箱の中にかける自分だけの虹ですよ!

子ども科学・ものづくり教室
「静電気グッズを作って遊ぼう」

●日程 1/20(土)
●時間 13:30~14:30

対象 幼児・児童・中学生 (小3以下保護者同伴)
定員 25~30人 参加費 なし (入館料が必要)
申込 要 (往復はがきでの申込 (熊本 HP 掲載))



ビリビリ、フワフワ、カンカン...電気コップや電気くらげ、静電気ベルなどを作って遊びましょう!

熊本県立装飾古墳館

熊本県山鹿市鹿央町岩原 3085
TEL.0968-36-2151



消しゴム粘土を使った勾玉、埴輪づくり

●日程 1/6(土)
●時間 10:00~15:00

対象 なし 定員 なし 参加費 200円(材料代) 申込 不要



世界に一つだけのオリジナル消しゴムができます。

おおいた

長者原ビジターセンター

大分県玖珠郡九重町大字田野 255-33
TEL.0973-79-2154



タデ原のミニガイドウォーク

●日程 毎日(*悪天候時・12月29日~1月3日を除く)
●時間 ①11:00~11:30 ②14:00~14:30

対象 なし 定員 なし 参加費 100円
申込 必要 (事前にお問い合わせください)



ビジターセンターからタデ原の木道をぐるっと一周800mのコースを、ガイドと一緒に自然を楽しみながら歩こう!

おきなわ

ワンダーミュージアム
(沖縄こどもの国)

沖縄県沖縄市胡屋 5-7-1
TEL.098-933-4190



絵本作家 SAVA ちゃんと
サンタのすむひかりのまちをつくらう

●日程 12/9(土)、12/10(日)、12/16(土)、12/17(日)
●時間 13:30~15:30(時間内随時参加)

対象 なし 定員 なし
参加費 なし (別途入館料が必要) 申込 不要



真っ黒なお部屋をみんなの力を合わせて、ひかりのあふれるまちにしよう! 12/17(日)の15:00頃からは「ひかりのまちのおはなし会~歌と光でまちを完成させよう~」を予定しています。

がんまりあそび発明

●日程 随時
●時間 9:30~17:00

対象 なし 定員 なし
参加費 なし (別途入場&入館料が必要) 申込 不要



がんまりは沖縄の方言でいたずらの意味。いたずらゴコロは、あそびゴコロの源。がんまり研究室で、キミの考える「あそびの装置」を発明用紙に描こう。そのアイデアは図鑑に納められ、いつの日か展示として実現するかもしれない!

おうちでできる
ミュージアムな
たいけん

石ころヨーヨー

だんだんと冷え込みが強くなり、冬が来たなと感じる季節になってきましたね。冬は外遊びの時間も少なくなりがちですが、今回は外遊びと室内遊びを上手に繋げる「石ころヨーヨー」をご紹介します。子どもたちが見つけてきたお気に入りの石ころをステキにリメイクしてみませんか? (文章:中谷 朱里 写真:古谷 裕/清水文美)

作り方を教えていただいたのは、兵庫県立人と自然の博物館の古谷裕先生です。「石ころは1つ1つが地球の歴史の中で生み出されたかけがえのない存在です。」というほど、石に深い愛情を持つ古谷先生。先生の言葉通り、どこにでも転がっている石ころも、よく見みると種類が違ったり、同じ種類でも形や色が違っていたり、と人間のように個性が見えてきます。人と自然の博物館では、「チャート」と「凝灰岩」という2種類の石を使って、「石

ころヨーヨー」を作っています。「チャート」は表面がつるつるしていて、小さいながら化石を含んでいる石で、「凝灰岩」は、いろいろな形をした石の破片をたくさん含んでいます。2つを比べると、その違いがよくわかります。皆さんも身の回りで個性的な石ころたちを探してみてください。普段は注目しなかったことに着目してみることで、いつもとは違う一日になるかもしれませんよ。

材料



- カプセルトイのケース …1つ
- 石ころ ……………2つ
- 輪ゴム ……………2つ
- お気に入りのマスキングテープ…………1つ

作り方

さっそく
始めましょう!

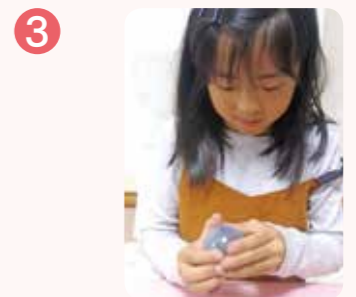


1 おうちにあるカプセルトイの空のケースを再利用!どのような形でもOK (写真では直径4.8mmのものを使用しました。)



2 ケースの色がついている方の穴に、カラー輪ゴムをとおし、2回結ぶ。

★この時にしっかり結んでないと落ちてしまいます。できないときは大人の人に結んでもらしましょう。
★輪ゴムをもう一つつけると1本の時よりびよーんと伸びるよ!!



3 身近な石ころを2個選ぶ!
★拾ってきた石ころは水洗いをしてきれいにしましょう。



4 透明な方のケースでふたをする。
★外れないようにカチッと音がするまでしっかりとしめしましょう。



5 ケースの境目をお気に入りのマスキングテープで留め、自分のオリジナル「石ころヨーヨー」を作りましょう。

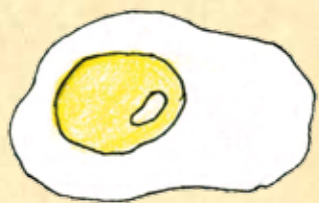


最後にどこでとったかのラベルを貼れば完成です。自分で石ころに名前を付けてみると面白いかもしれませんね。

ミュージアムな
ク・イ・ズ

「なにをまぜる?」

右のびんの中身は、
絵の具の材料になる色の粉です。
この粉にあるものをまぜると、
絵の具になります。
それはつぎの3つのうち、どれかな?
こたえは1つではないかも…!?



① たまごの黄身



② あぶら



③ うさぎやシカ
などの骨や皮

◆ ◆ さてどれだ? こたえは 18 ページ! ◆ ◆

文・イラスト:阿部美里/村山佳穂 監修:細谷美宇

Topic

今冬12月23日(土祝)~3月11日(日)、キッピー山のラボ(兵庫県三田市有馬富士自然学習センター)では、体験イベント『いし・すな・ねんど』が開催されます。石ころの展示やワークショップが盛りだくさんです。また、今回紹介した「石ころヨーヨー」は2月12日(月・振休)の『いしころまつり』で体験できます。詳細はキッピー山のラボのホームページ、facebook をチェックしてください。興味を持たれた方はぜひお越しください。



未来を担う子どもたちへ

自然の中で、大いに遊び、 志を育てること

奥野総合法律事務所・外国法共同事業 所長 奥野善彦さん

福島県棚倉町の、豊かな自然と心優しい人々の間で育まれた
少年時代の経験が、人生の礎となったという
奥野善彦弁護士からのメッセージをお届けします。

竹田（ユース） 棚倉町出身の竹田です。今日はよろしくお願ひいたします。奥野先生は、疎開先として福島県棚倉町で暮らしておられたということでしたが、あらためて、その当時の棚倉町の自然や人々との交流についてのお話をお聞かせ下さい。

美しい自然を、忘れられない

奥野 小学2年生のときに棚倉へ疎開したのですが、その時の第一印象は、町の方々がみなとても親切だということでした。またそれにも増して、「ああ、なんて自然が豊かな場所なのだろう」という印象を持ちました。春には山菜採りや亀ヶ城での花見、夏は久慈川での魚釣りや水泳、秋にはキノコ採りや里山散策と自然を満喫しましたね。その頃の久慈川はとても美しく、その証拠に6月くらいになるとですね、どこにでもホテルが飛んでいて、手でつかめるんですよ。わーっと満天にホテルが飛んでいました。

5年生のときに東京へ戻ったのですが、おふくろが棚倉にいたので、中学生の夏休



昔はもっと美しくあったという棚倉町の川

みに再び棚倉町を訪れました。そのときの風景が、私には忘れられない。美しい棚倉でした。ほんとうに美しかった。雨上がりの上の上を数え切れないほどの赤トンボが飛んでいました。それを見て、これこそが私の原風景だ。そう思いました。それで、思わず、棚倉に帰る、棚倉にきてどうしてもここで勉強したい、と親に頼み込んで、あらためて棚倉に越してまいりました。

竹田 自分も、幼い頃は自然の中で遊んだ経験があります。でも、最近、難しくなってきたように思います。先日、久しぶりに地元を歩いて、イナゴが少ないことに、少しショックを受けました。

奥野 私の小さい時はどこでも川遊びすることができました。棚倉町では洪水はほとんどないんですけれど、それなのにもうどこの川もコンクリートの土手ができてしまって、アシが生えてるような川がなくなってきた。昭和45年頃になると、全く川に入れないという状態になってしまいましたね。あの美しい久慈川が清流であることをやめてしまった。清流でなくなりました。そうするとトンボがいなくなる、ホテルもいなくなる、もうあらゆる昆虫がいなくなり、川辺に咲いていた美しい花も消えてしまう。まるでレイチェル・カーソンが警鐘を鳴らした『沈黙の春』の世界ですね。春になっても鳥が来ない、虫が飛ばないという、そういう世界に変わっていく。トンボが育ち、小鳥がさえずり、そして山菜が採れる。そういう里



奥野善彦（おくの・よしひこ）（写真中央）
奥野総合法律事務所・外国法共同事業 所長

東京生まれ。戦時中、福島県棚倉町に疎開し、高校生までの大半を棚倉町で過ごす。学法石川高校、中央大学法学部卒。弁護士。事業再生のエキスパートとして、数々の企業再生を手がけるほか、整理回収機構社長などを歴任。棚倉町「心配ごと相談」（月1回の無料法律相談）は1967年に開始し、50年に及ぶ。2015年に「棚倉町奥野自然活用基金」を創設し、里山の自然環境保全に貢献。「ひよこミュージアム」や「お月見どろぼうたいけん」などは、当基金により実現した。2017年棚倉町名誉町民。

山はね、やはり、人のつくった文化なんです。今は、私が小さい頃知っていた棚倉、あの美しい自然、美しい里山のある棚倉に比較すると、なんとも寂しい状態になっています。学芸員のみなさんのお力も借りて、美しい里山を、子どもたちのために取り戻したい。若い小さな子どもたちのために、美しい山河を残してやってやりたい。そう思うんですよ。そこへ多少の資金を出してでも、里山の復活を、みなさんで考えていただきたい、それを実現していただきたいと思っています。



人の優しさを、忘れられない

竹田 棚倉町で無料法律相談を50年にわたって続けられているそうですが、そのきっかけは？

奥野 終戦を迎え、食料が手に入らない時代に、棚倉にお世話になりました。年末28日か29日になりますと、近所で餅つきが始まるんですね。私の家は餅がつけなかったのですが、杵をつく音が聞こえないことに気付いたご近所の人から「お餅をどうぞ。」と言ってね、持ってきてくださった。そういった人の温かさが忘れられなくて、私は棚倉町のために恩返し



新緑の里山を散策するユーススタッフと子どもたち（2017年5月、棚倉町関口地区）。お花を摘んだり、虫を探したり、のびのび遊ば、子どもたちもきつとおおらかに

お花を
摘んだよ！



がしたいという思いを強く持っていました。この辺りには、事務所を開設している弁護士がいないし、弁護士が住んでもいないということを知っていたので、弁護士になった後すぐに、無料法律相談に手を挙げて、出向いて行くことになりました。私は棚倉で無料相談を始めたということ、そして今も続けているということをとっても誇りに思っております。例えばシドニーで、あるいはロサンゼルスで、国際法律学会とあって、世界中の法律家が集まっています。そこでね、グローバルの法律家たちを相手にして、「弁護士の原点は人を助けることではないですか、田舎町で法律相談をやっているのが私の誇りです」って言ったらね、各国から集まった弁護士の細君たちはですね、「まあ、素晴らしい先生。家の夫はお金儲けばかり考えるの。先生のような人が弁護士の原点ではないですか」と言って、私のところに話しに来てくれるんですよ（笑）。これは嬉しい。

竹田 棚倉の自然が変わってしまったというお話でしたが、人々の心はどうなのでしょう。

奥野 棚倉の人は、昔から人柄が優し



棚倉町には、歴史文化遺産も多い。奥野先生の通学路だったという長久寺にて

い、変わっていないと思います。けどね、昔は、みんなが今よりも貧乏して、苦労していましたから、もっと人に優しくなったように思いますね。みなさんもなさった「お月見どろぼう」ですが、あれは子どもたちへ将来を託そう、豊かな子どもたちの夢をつかっていこうという、貧しい農家たちのね、心優しい文化なんです。近代化が進んで便利になったけれども、美しい自然が失われると、それとともに、人間の気持ちもずさんでいくんじゃないかな。美しい大地のあるところには、子どもたちも豊かにのびのびと育つてますから。子どもたちが、あっちこっち走り回って遊ぶ、そういう風景がなくなると、大人たちも、ずさんでいくと思います。子どもたちの笑顔が、もっとあったらいい。

志を持つということ

竹田 学生時代はいかがでしたか？ また、僕たち学生に、アドバイスをいただけましたら嬉しいです。

奥野 学生時代の私は本を読むことが好きで、時間があれば勉強せずにたくさん本を読んでいるような少年でした。弁護士になって人を助けたいという強い気持ちは本から学んだことだな、と思います。「鶏口となるも牛後となることなかれ」ということが大切で、そういう志を持って世の中に出ていくことこそ大事であってね、大学に入るだけが人生ではない。有名大学を出たから偉いなんて、ちっともないですよ。私は、破たんした会社を再生していくプロなんです。破たんした会社

社には、必ず破たんさせた社長なんかと親しくしてる、優等生なんかがいるんですよ。でもね、破たんした会社を再生することができるのは、そういった優等生ではないんです。誰が再生するかと思ったら、その会社じゃないと生きていけない、その会社に限りなく愛社精神をもって、再建のためにできる限り働きたいと思っている、そういう人たちの方が、その会社の再建に役に立つんですよ。

自然の中で、のびのび遊ぶこと

竹田 最後になりますが、未来の子どもたち、親御さんたちへのメッセージをお聞かせ下さい。

奥野 子どもたちがのびのびと個性を伸ばしていけるような環境がたくさんある社会であつたらいいなと思います。子どもに早くから勉強させるのではなく、自然と触れ合いながら遊ぶことで、おおらかな子どもに育つのではないかと思います。あとは若い時に素晴らしい人の話を聞くこと、素晴らしい物を見たり触れたりすることをお勧めします。若いときにこれらをやっておくと、自分の見方が広がるきっかけとなるからです。ある時期から子どもは自分から勉強するようになります。大人たちは、子どもが学びやすい環境を作ることが大切ですね。

（竹田健一郎 中村彩乃）

※この記事は、2017年10月12日に事務所をご訪問してユースが行ったインタビューと、8月30日に棚倉町役場で行われた『特別講演「棚倉町で過ごした少年時代」』の内容をもとに、構成しました。



太白山自然観察の森 レンジャー **黒川 周子さん**

自然との触れ合いと 人との出会いを大切にする

ミュージアムにあるのはモノだけじゃない！そこには必ず素敵な人がいるのです。私たちユースがこども☆ひかりプロジェクトで出会った、ミュージアムで輝く大人を紹介します。

宮城県仙台市に位置する太白山自然観察の森は、様々な生き物が生息する自然の宝庫です。森の入り口には自然観察センター（以下センター）があります。そこでレンジャー（自然観察員）として働いている黒川周子さんにお話を伺いました。

——初めに、太白山自然観察の森自然観察センターとは、どのような施設ですか？
黒川 ひとことで言うと、自然について知りたいことを知ることができる施設です。センター内にはいつもレンジャーがいて、様々な自然に関するイベントを行っています。例えば、毎週日曜日には「ガイドウォーク」を開催し、レンジャーがその時々に見られる動植物の観察をしながら森の案内をしています。それから、自然観察の森で見られる動物や虫、植物の展示もあります。時には近隣の小学校で出張ガイドを行うこともありますね。

——黒川さんはセンターでどんなお仕事をなさっていますか？

黒川 主にセンターにいらっしゃったお客様のご案内をしています。それからイベントの企画や、展示制作もしています。展示スペースには子どもたちが遊べるコーナーもありますよ。他には、森に出向いて、今の時期に見られる植物の開花状況や虫の出現状況を記録するのもお仕事です。

——幅広いお仕事をなさっているんですね。お仕事を通して、子どもたちに伝えたい思いはどんなことですか？

黒川 私は子どもの「わーすごい！」ときらきらさせた顔がとても好きなのです。子どもは、習い事や部活動や受験などで、自然から離れる瞬間が来ます。その時まで、たくさんの自然と触れ合っただけで感性を育ててほしいですね。そして大人になって親になった時に、子どもにも自分が体験したことを思い出して伝えてほしいです。

——黒川さんの子ども時代に、ミュージアムに関連した思い出はありますか？

黒川 それが、ないんです（笑）。博物館は家の近くにはなかったし、水族館はあったかもしれませんが行った記憶はないかな…。

——そうなんですか！それは意外です。では、ミュージアム関連のお仕事をするようになったきっかけは何だったのですか？

黒川 実は、短大生の時に博物館の喫茶店でアルバイトをしていたことがきっかけです。その喫茶店には、博物館で働



ている先生方がよくお昼ご飯を食べに来ていて、だんだんと顔見知りになりました。そんなある日、人手が足りないからと、先生から研究室のデータ収集と整理のお手伝いを頼まれたのです。そのお手伝いをしているうちに虫や自然に興味が出てきて、それらに関連した仕事に就きたいと考えるようになりました。

——将来の方向性を決定づけた出来事だったのですね。ところで、黒川さんには二人のお子さんがいらっしゃって、こども☆ひかりプロジェクトの活動にも親子で参加してくれていますね。お二人にはどのように育ててほしいですか？

黒川 私もそうだったのですが、人生って出会う人によって大きく変わると思うのですよね。だから、たくさんのいい人、そしていいものに会ってほしいです。加えて、様々なことに感動・感謝して、明るく楽しく、そして前向きに育ててほしいと思います。



いつも笑顔で、子どもたちに優しく接する黒川さん。インタビューをさせていただいて、黒川さんの人生のターニングポイントには「いい人との出会い」だったことが分かりました。黒川さん自身も、子どもたちの人生を彩る「出会い」を生み出しているという印象を受けました。

（佐藤 萌）

仙台市太白山自然観察の森

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字
生出森東36-63
TEL.022-244-6115



元宮城県美術館 教育普及部長 美術家 **齋 正弘さん**

児童館の人たちと 僕がやっていること — 美術を使うとはどういうことか

美術館の教育普及活動に長年関わってこれ、その中で子どもたちを見つめ続けてきた齋正弘さん。「子ども」とはどういう人たちのか、そして、その子どもたちのために美術館・博物館ができることとは、いったいどんなことなのかについて、文章をお寄せいただきました。

ワークショップの展開—美術館探検本物

小さい人たちと様々な活動をやる時のコツは、きっちりと隙間なく計画を立てることではない。「何をするのか」の覚悟のようなものだけを単純明快に決めておくことだ。

例えば今回、仙台市内のある児童館の人達と、郊外にある古い神社の裏の森で「倒れるぞう！」をする。林の中にある、本物の檜の木をみんなで切り倒してみよう！ね！面白そうでしょうか？そこに来た人たちと「丁寧に」相談しながらそれを体験する。来る人は児童館に来ている小学1年生15人、2年生5人、3年生3人、4年生2人。職員4人。全体の割合はオスの方が多い。下草刈っていない林の中に入るのみんな初めて。僕が事前に知っているのはそのくらいだ。

まず最初に林の中に踏み分け道を作りながら、ゆっくり一回り。途中で、草の中でしゃがんでみたりしながら、（職員を含めた）その人たちの「普通の林の中での反応」を（僕が）観察する。それで、午前中の1時間半は終了し昼御飯。一緒に食べて、反応を見る。食後、切ることのできる木のある林に移動し、どれを切るか探す。本物は太くて大変だし、様々な理由から、（事前に、間伐材なら切ってもいいよと神主さんから許可をもらっている）時間中に切れそうな太さの木をみんなで（実は僕が）選ぶ。とはいえ、林の中にある木はどれを選んでも梢は見えないぐらい高い。みんなでよく見ながら、あそこ（梢）がここ（地面）まで倒れてくることを想像する。何人か（全員である必要はない）の女子！が、ここに

いては危ないことに気づく。

4年生は、僕が木を切る手伝い。1年生は倒れる方向にロープを引っ張り、2年生も一緒に引っ張りながら1年生が倒れて来る木に踏み潰されないように見張る。3年生は4年生と2年生の連絡をする。という「（本格的）打ち合わせ」を林の中で



する。この前はそこでちょっとふざける男子がいて僕に怒られ泣き出してしまったが、泣いても僕は真面目に怒り続け、本気にならないと死ぬぞと言いつける。みんな本気になる。こうなれば人間の幼体はなんでもできる。多分本当はこれをしたかったのかな。泣いても、ふざけられないことはふざけられない、死ぬからね。

4年生を肩車して、切り倒す木のできるだけ高いところにロープを結ぶ。これ（直径10センチほどの木に太いロープを回してきつく結ぶ）ができない4年生（男子。大抵、女子が代わりにしてくれる）



齋 正弘さん

1981年の開館以来、宮城県美術館にて教育普及の研究と実践を行い、特に美術館で教育普及に携わる人々に大きな影響を与えてきた。退職後も児童館などで活動を行っており、教育に関する研修などで、講師として全国各地に招かれる。美術家でもある。

が多くなってきているのが気にかかるが、なんとか結ぶ。ずうっと遠くて、1、2年生がロープを引き始める。3年生がまだ引かないように言う。僕が倒れる側に斧で切れ目を入れ、鋸で反対側を切り始める。お爺さん（僕のことね）はすぐに疲れて、4年生に交代。僕は少し離れて、全体の様子を見る。さっき怒られた人を見つけておく。何人も代わりながら、大人（職員）も混じって切り、1、2年生は引っ張り、倒す。最後のあたりはみんなで耳を澄ましメキメキときたら事前に決めておいた方向に飛び退いて逃げる。ね、面白そうでしょうか？いや何回やっても、本当に毎回面白い。倒れた後はみんなで枝を切り落とし、何本かに切り分け、はしごを作って木登りをしたり、丸太を薄く切ってお土産を作ったりしていると帰る時間が来る。もちろん誰もやめないが、最近はずいぶん林の中が薄暗くなってくるので、熊が出る前に帰ることにする（と言ってやめる、大人の都合では止められない）。

唯一決まっているのは、木を切ること。あとはそこをみんなで目指して、その時必要な作業を色々組み立てていく。ある目標を皆んなで力を合わせて履行するが、決められた成就を目指すのではないということ、リーダーが深く自覚していればいい。単純明快な目標だけを定め、細かい計画は立てず、成就を／は目指さず、経過を重視し楽しむ自覚と覚悟。

見た目は学校の授業とほとんど同じだが、関わる子ども達の目は、始める前と後では全く違って来る。その目がみんな違った目になることに大人が気付けるといいのだが。



フェイスシールをべたっ！
こども☆ひかり
フェスティバルにて

ワークショップで
花束を作っています。
with お子さんの
さやちゃん

ママ、パパにおすすめ

ミュージアムカフェ

ぱんだかふえ

(横尾忠則現代美術館)



展示会を見たあとにちょっと休憩。そんなとき気になるのがミュージアムのレストランやカフェ。お子さん連れならなおのことです。そんなレストランやカフェをご紹介します。

世界的に活躍する美術家、横尾忠則の作品をコレクションする横尾忠則現代美術館は、2012年に神戸市灘区にオープンしました。美術館に隣接するガラス張りの建物が、今回ご紹介する「ぱんだかふえ」です。

店内は海と山に囲まれた港町神戸らしい明るく開放的な雰囲気、窓の向こうには、赤レンガ造りの神戸文学館と六甲山を望むことができます。居心地の良い空間は、美術館来場の方はもちろん、近隣の常連さん、お隣の原田の森ギャラリー利用の方、動物園帰りのご家族連れなど、様々な方でにぎわっています。

ランチは、季節のバスタやグリーン野菜付きカレー、たっぷり野菜のサンドイッチ、週替わりのプレートに前菜とデザートがついたミュージアムランチなど、どれも盛りだくさんの満足メニュー。子どもたちに人気なのは、季節のソフトクリーム。手作りのケーキもとっても美味しいですよ！

お料理の中身の充実はもちろん、それらが横尾さんデザインの食器で提供されるのも楽しいところ。横尾さんファンにも人気で、気に入った食器をミュージアムショップで購入する方もいらっしゃいます。

美術館では、展示会に合わせて子ども対象のワークショップを行っています。カフェ注文時に展示会チケット半券をご提示いただくと、ミニデザートのサービスもあります。展示会やワークショップを通じてヨコオワールドを味わったあとはぜひ、ぱんだかふえへ！(多胡真佐子)

横尾忠則現代美術館

〒657-0837 神戸市灘区原田通 3-8-30
TEL. 078-855-5607
www.ytmoca.jp



- ベビーカー 持込可 貸出有・無料
- おむつ交換台 隣接の「原田の森ギャラリー」内 にあります
- 授乳室 隣接の「原田の森ギャラリー」内 にあります

- 開館時間 10:00~18:00(入場は17:30まで)、展示会開催中の金・土曜日は10:00~20:00(入場は19:30まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月31日、1月1日)、メンテナンス休館(不定期)
- アクセス 阪急電車「王子公園駅」より徒歩約6分/JR「灘駅」より徒歩約10分

ミュージアム Goods



針間書 マスキングテープ 486円

戦国時代に作られた医学書「針間書」のマスキングテープだよ。テープの独特な質感がとってもリアル！テープとしてはもちろん、手のひらサイズのレプリカ気分です。取ってみるのもいいかも！自分だけの使い方を探してみよう。

九州国立博物館で見つけた! 『針間書』はらのむしってなに?



ビン詰めされた「はらのむし」たち



「はらのむし」が印刷されたラムネだよ

「針間書」は、今から450年前のお医者さんの本だよ。そのなかには、病気の元とされた「はらのむし」がたくさん描かれているよ。

針間書フィギュア 540円

ビン詰めされた「針間書」の虫たち、「針間書フィギュアシリーズ」。キモカワで人気な虫たちを、大胆にかわいくデフォルメ! ほどよいサイズでコレクション性抜群だよ。集めてかざろう!



九州国立博物館
〒818-0018 福岡県太宰府市石坂 4-7-2
TEL.092-918-2807

「アジアの中の日本」を感じることのできる博物館。「あじっば」や「はらのむし体操」も子どもに人気です。

(取材協力:九州国立博物館 文・写真:手島翔一)

針間書ラムネ菓子 「虫整錠」 450円

薬みたいなラムネのお菓子「特製虫整錠」。針間書の虫たちが印刷されたラムネだよ。1袋に1枚、虫たちのお守りシールがついてくる! シール裏面には解説もあるよ。

ミュージアムなクイズ こたえ

- ①たまごの黄身
- ②油
- ③うさぎやシカなどの骨や皮ぜんぶ!!

ひんに入っている色の粉は、おもに岩や石を砕いたりして作ります。



たまごの黄身や、油(かわく性質のもの)は、ねばねばしていて、かわくと固まります。うさぎやシカなど、動物の骨や皮から煮出したゼラチンなども、同じような性質があります。これらを色の粉と混ぜ合わせると、紙や布などに色の粉をくっつけて固まる、のりの役目をします。色の粉とのりになる材料がまざったものが、絵の具です。①たまごの黄身をまぜた絵の具はかわきが早く、色が長持ちします。②油の絵の具を使うと、絵の表面はツヤツヤとして、光や湿気に強くなります。③動物の骨や皮から煮出したゼラチンは、にかわと呼ばれます。日本で昔から使われていた材料で、絵の表面に色の粉のつづがキラキラと見えることがあります。

ふゆの子どもむけイベント

あつまれ!

ゆくゆく★キッズミュージアム

「博物館っておもしろい!」と思ってもらえるようなプログラムを用意しているよ!

日時 12月23日(土・祝)
午前10:30~午後3:30

場所 九州国立博物館 1階
ミュージアムホール ほか

- ※ 時間、場所、内容等が予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- ※ 材料・整理券がなくなった場合、早く終了することがあります。
- ※ 未就学のお子さまは保護者の方と一緒にご参加ください。

料金 無料

HP 詳細はHPをご覧ください。
<http://www.kyuhaku.jp>

主催・お問い合わせ先 九州国立博物館 交流課
〒818-0118 福岡県太宰府市石坂 4-7-2
TEL 092-929-3289

協力 九州国立博物館振興財団、こどもひかりプロジェクト

九州国立博物館

楽しくつくろう!
プラバンブローチ

整理券が必要
古代文字を書いてみよう!

あなたの知らない
折り紙の世界

ファン・クリ(影絵)の
ぬりえ

整理券が必要
エコバッグ作り

整理券が必要
組紐でミサンガ

整理券が必要
「九博の森」で
ネイチャークエスト

おむかし
大昔の家を
建てよう!

整理券が必要
土笛を作ろう!

サイエンス
ショー
をするよ☆

やっぴい博士のサイエンスラボ
① 11:30~ ② 13:30~ ③ 15:00~
※内容は3回とも同じです。



ミュージアムキッズ を入手するには? 下記の方法・場所で入手できます!

★ホームページからのお申し込み
5冊 1,000円+送料で頒布いたします。ご活用ください。

★「こども☆ひかり CLUB」のメンバーになる

こども☆ひかりプロジェクトを支援くださる方々を募集しています。年会費は個人 3,000円、法人 10,000円以上。ご指定の住所へ年2回「ミュージアムキッズ!」5部をお届けするほか、オリジナルグッズのプレゼントや割引頒布、キッズにおすすめの各種ミュージアムイベント情報を、Eメールにてお届けします。ホームページからお申し込みください。

★この号を置いてくださっている施設 (FREE)

野外博物館北海道開拓の村/青森県立三沢航空科学館/青森県立美術館/岩手県立こどもの森/宮城県美術館/仙台市太白山自然観察の森/仙台市縄文の森広場・地底の森ミュージアム/スリーエム仙台市科学館/せんだいメディアテーク/ショップ&ワンダーアエル/ふくしま森の科学体験センター ムシテックワールド/環境水族館アクアマリンふくしま/南相馬市博物館/群馬県立ぐま昆虫の森/日本科学未来館/安曇野ちひろ美術館/東京ステーションギャラリー/新江の島水族館・なぎさの体験学習館/新潟市水族館マリニピア日本海/静岡科学館・く・る/愛知県陶磁美術館/名古屋美術館/美濃加茂市民ミュージアム/金沢21世紀美術館/京都国立博物館/国立民族学博物館/キッズプラザ大阪/兵庫県立人と自然の博物館/兵庫県立考古博物館/兵庫県立美術館/神戸ファッション美術館/神戸アートビレッジセンター/キッピー山のラボ(三田市有馬富士学習センター)/明石市立天文科学館/島根県立三瓶自然館サヒメル/徳島県立あすむらんど子ども科学館/九州国立博物館/福岡アジア美術館/久留米市美術館/九重ふるさと自然学校/長崎県美術館/雲仙岳災害記念館/長崎ペンギン水族館/熊本県立装飾古墳館/熊本市現代美術館/沖縄県立博物館・美術館

編集後記

- クイズ作りのために学芸員さんのお話を聞きながら作品を見ると、新たな発見があつても楽しかったです!(阿部 美里)
- キッズや子育て中の方、そして進路に迷っている学生など、様々な立場の人に読んでほしいインタビュー記事となりました。(佐藤 萌)
- 棚倉町の今と昔の人や自然のことを聞くことができた貴重な体験でした。これからの活動に活かしていきます。(竹田健一郎)
- 子ども向け文章を書くのはいつぶりでしょう?新鮮な気持ちで執筆しました。九州国立博物館らしさが出る文を目指しましたので、それが伝われば幸いです。(手島 翔一)
- 話すのと文に書くのとでは全く違うなと思いました。「石ころヨーヨー」を作っていたけると嬉しいです。(中谷 朱里)
- 棚倉レジデンス期間中に聞いて感動した奥野先生のお話を今回はインタビューとして聞くことができ嬉しかったです。(中村 彩乃)
- 読んでくださった方に楽しさが伝わるような記事になるよう考えました。たくさんある兵庫県立考古博物館の魅力が伝わると嬉しいです。(新熊 千通)
- 実際に博物館に行くと、文字にするときに伝えたいことが次々と頭に浮かんでしまい、限られた字数のなかでまとめることが大変でした。(三上 堯)
- 沢山お話を聞くことができ、クイズ作りのためだけでなく自分自身も楽しく学ぶことができました!(村山 佳穂)
- 熊本での全国フェアの楽しさが読者に伝わるように読みやすい文を目指しました!協力してくださった皆さま、ありがとうございました。(八重樫あすか)
- 今回は熊本県立装飾古墳館について執筆しました。全国フェアと共に、古墳館にも興味を持っていただけたら嬉しいです。(吉田 望里)

「ミュージアムキッズ」vol.7も、お楽しみに!